

工学研究科 機械工学専攻

人材養成等に関する目的
機械工学専攻は、機械工学に携わる研究者あるいは技術者として求められる高度な学識と研究方法を習得し、研究課題を自ら発見し、解決する能力を持った人材の育成を目的とする。

カリキュラム・ポリシー
修士課程においては、学士課程で養った教養、基礎学力、専門知識を基礎として、さらに専門科目「一般教養科目」「修士研究」により、機械工学分野における高度な専門性を要する研究開発能力を養うことができる教育課程を編成する。
(1)「専門科目」では、機械工学分野におけるより高度な専門的知識を身に付けるための授業科目を重点的・効果的に配置する。
(2)「一般教養科目」では、幅広くかつ深い学識を涵養する授業科目、コミュニケーション能力・倫理観・国際性等を養う授業科目を配置する。
(3)「修士研究」では、国内外の文庫の読書、指導教員等研究者との議論、国内外の学会等での発表、学術論文の発表等を行うことを通して、自身の研究成果を正確かつ効果的に表現する力、専門性を要する研究開発力、及び課題解決力を高め、研究者・技術者・設計者等として国内外で国際的な視野を持って活躍できる能力を育成する。
※1 各分野の基礎となる科目 ※2 修士2年間で自由に履修可能なカリキュラム。

Table with columns for '分野' (Field) and '科目群で身に付ける能力' (Ability to be acquired through subject groups). Rows include: 材料力学 (Material Science), 機械動力制御及び (Mechanical Power Control), 流体工学及び (Fluid Engineering), 設計工学 (Design Engineering), 全分野共通 (Cross-field Common), 一般教養科目 (General Education). Each row lists specific subjects and their corresponding learning objectives.